



2026年9月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年2月16日

上場会社名 株式会社くふうカンパニーホールディングス 上場取引所 東
 コード番号 4376 U R L <https://kufu.co.jp/>
 代表者 (役職名) 取締役兼代表執行役 (氏名) 穂田 誉輝
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役兼執行役 (氏名) 菅間 淳 TEL 03-6264-2323
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年9月期第1四半期の連結業績 (2025年10月1日～2025年12月31日)

(1) 連結経営成績 (累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年9月期第1四半期	3,182	△7.9	138	118.1	202	161.0	277	—
2025年9月期第1四半期	3,454	5.8	63	—	77	—	△78	—

(注) 包括利益 2026年9月期第1四半期 108百万円 (- %) 2025年9月期第1四半期 △91百万円 (- %)

EBITDA 2026年9月期第1四半期 387百万円 (11.7%) 2025年9月期第1四半期 346百万円 (156.8%)

「EBITDA」は、営業利益に減価償却費及びのれん償却額を加えて算出したものであります。

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年9月期第1四半期	4.64	—
2025年9月期第1四半期	△1.32	—

(注) 2025年9月期第1四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの1株当たり四半期純損失であるため記載しておりません。2026年9月期第1四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年9月期第1四半期	17,578	10,071	46.5
2025年9月期	16,485	9,635	48.5

(参考) 自己資本 2026年9月期第1四半期 8,181百万円 2025年9月期 8,002百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2025年9月期	円 銭 —	円 銭 0.00	円 銭 —	円 銭 0.00	円 銭 0.00
2026年9月期	—	—	—	—	—
2026年9月期(予想)	0.00	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年9月期の連結業績予想 (2025年10月1日～2026年9月30日)

(%表示は、通期は対前期増減率)

	売上高		営業利益		EBITDA	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
通期	17,000	20.5	1,000	91.3	2,000	17.7

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：有
新規 4社 (社名) 株式会社アトリエはるか他3社、除外 一社 (社名) 一

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- | | |
|----------------------|-----|
| ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| ② ①以外の会計方針の変更 | : 無 |
| ③ 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| ④ 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年9月期 1Q	60,415,372株	2025年9月期	59,887,595株
② 期末自己株式数	2026年9月期 1Q	98,760株	2025年9月期	98,074株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2026年9月期 1Q	59,823,690株	2025年9月期 1Q	59,789,364株

(注) 当社の一部の連結子会社は、株式給付信託型ESOPを導入しており、株式給付ESOP信託口が所有する当社株式は、自己株式に含めて記載しております。

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(セグメント情報等の注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	10

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当社グループは“「くふう」で暮らしにひらめきを”を経営理念とし、「毎日の暮らし」及び「ライフイベント」において、生活者であるユーザーにとっての利便性や豊かさを最優先に考え、情報格差の解消や利便性の高いサービスづくりに取り組むとともに、ユーザーの主体的な意思決定や行動に繋がる価値提供を目指しております。

当第1四半期連結累計期間の経営成績については、売上高は3,182百万円（前年同期比7.9%減）、営業利益は138百万円（前年同期比118.1%増）、経常利益は202百万円（前年同期比161.0%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は277百万円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失78百万円）となりました。

報告セグメント別の経営成績の概況は次のとおりであります。

<毎日の暮らし事業>

当事業は主に、株式会社くふうカンパニーによるチラシ・買い物情報サービス「トクバイ」やオンライン家計簿サービス「Zaim」等の事業で構成されております。

当第1四半期連結累計期間において、主力のトクバイ事業は、前年度に実施した事業統廃合やコスト削減による構造改革が奏功し、安定的に利益を創出いたしました。また、トクバイ導入店舗の開拓においては、主要業態での有償化推進や新規業態の開拓に注力いたしました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間における毎日の暮らし事業の売上高は692百万円（前年同期比3.2%減）、営業利益は224百万円（前年同期比53.2%増）となりました。

<ライフイベント事業>

当事業は主に、株式会社くふう住まいコンサルティング、株式会社くふう住まい、株式会社くふうウェディング各社の主要事業である住まいFC事業、住まい相談事業、ウェディング事業で構成されております。

当第1四半期連結累計期間において、住まいFC事業は、売上高・利益ともに安定的に推移し、住まい相談事業は、相談カウンターの出店に伴い、エリア拡大が進みました。ウェディング事業は、市場環境の厳しさが続く中、国内カジュアルウェディング事業のサービス展開が貢献し、売上高・利益ともに伸長しました。自社施工その他は、自社施工の竣工棟数が相対的に少なかったため、売上高・利益ともに前年度を下回りました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間におけるライフイベント事業の売上高は2,023百万円（前年同期比0.8%増）、営業利益は114百万円（前年同期比34.3%減）となりました。

<投資・インキュベーション事業>

当事業は主に、子ども向け社会体験アプリ「ごっこランド」を提供する株式会社キッズスター、富裕層向けコンサルティングサービスを提供する株式会社Seven Signatures International、地域情報メディア・サービスを提供する株式会社くふうしづおかやスポーツ型のアミューズメントパーク施設「ニンジャ☆パーク」を運営する株式会社ゴールドエッグスなどのその他事業子会社、当社及び株式会社くふうキャピタルによる投資事業で構成されております。

当第1四半期連結累計期間において、株式会社Seven Signatures Internationalの大型案件の反動減等により、売上高・利益ともに前年度を下回りました。また、当社グループの企業価値を高める出資及びM&A等の検討を継続して進め、全国の駅ナカ・駅ビルを中心とした利便性の高い立地にヘアメイクを主力とする美容サロン「アトリエはるか」を展開する株式会社アトリエはるかを連結子会社といたしました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間における投資・インキュベーション事業の売上高は488百万円（前年同期比36.1%減）、営業利益は9百万円（前年同期比90.9%減）となりました。

(2) 当四半期の財政状態の概況

当第1四半期連結会計期間末における総資産は17,578百万円となり、前連結会計年度末と比較し1,092百万円増加しました。これは主に現金及び預金が332百万円、売掛金が241百万円、その他流動資産が244百万円、有形固定資産資産が263百万円増加したことによるものであります。

負債は7,507百万円となり、前連結会計年度末と比較し657百万円増加しました。これは主に長期借入金が653百万円増加したことによるものであります。

純資産は10,071百万円となり、前連結会計年度末と比較し435百万円増加しました。これは主に利益剰余金が666百万円増加した一方、資本剰余金が343百万円減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、2025年11月14日の「2025年9月期決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,434	7,766
売掛金	1,010	1,251
商品	49	98
仕掛品	46	123
原材料及び貯蔵品	11	12
販売用不動産	1,673	1,576
営業投資有価証券	1,889	1,704
その他	658	903
貸倒引当金	△4	△6
流動資産合計	12,769	13,429
固定資産		
有形固定資産	535	798
無形固定資産		
のれん	739	751
その他	1,115	1,135
無形固定資産合計	1,854	1,886
投資その他の資産		
繰延税金資産	720	649
その他	685	830
貸倒引当金	△89	△24
投資その他の資産合計	1,316	1,455
固定資産合計	3,706	4,140
繰延資産		
株式交付費	9	8
その他	0	0
繰延資産合計	10	8
資産合計	16,485	17,578

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	584	459
短期借入金	1,969	1,949
1年内返済予定の長期借入金	953	1,027
未払法人税等	142	96
契約負債	1,196	1,158
賞与引当金	—	16
ポイント引当金	4	3
訂正関連費用引当金	45	45
その他	1,004	1,130
流動負債合計	5,899	5,886
固定負債		
長期借入金	473	1,126
資産除去債務	225	237
繰延税金負債	12	12
株式給付引当金	74	74
その他	164	168
固定負債合計	950	1,620
負債合計	6,849	7,507
純資産の部		
株主資本		
資本金	30	77
資本剰余金	8,620	8,276
利益剰余金	△299	367
自己株式	△32	△32
株主資本合計	8,318	8,689
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△323	△523
為替換算調整勘定	7	15
その他の包括利益累計額合計	△316	△508
新株予約権	2	5
非支配株主持分	1,631	1,884
純資産合計	9,635	10,071
負債純資産合計	16,485	17,578

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年10月1日 至 2024年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年10月1日 至 2025年12月31日)
売上高	3,454	3,182
売上原価	1,575	1,270
売上総利益	1,879	1,912
販売費及び一般管理費	1,815	1,773
営業利益	63	138
営業外収益		
受取利息	0	1
為替差益	19	13
貸倒引当金戻入額	—	64
その他	5	2
営業外収益合計	25	81
営業外費用		
支払利息	8	11
株式交付費償却	1	1
支払手数料	0	0
その他	0	3
営業外費用合計	11	17
経常利益	77	202
特別利益		
解約清算金	—	303
株式給付引当金戻入益	1	—
その他	0	1
特別利益合計	1	305
特別損失		
固定資産除却損	2	11
事業整理損	—	16
特別退職金	0	—
その他	—	2
特別損失合計	2	30
税金等調整前四半期純利益	77	477
法人税、住民税及び事業税	121	37
法人税等調整額	0	140
法人税等合計	121	178
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△44	299
非支配株主に帰属する四半期純利益	33	21
親会社株主に帰属する四半期純利益又は 親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△78	277

(四半期連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年10月1日 至 2024年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年10月1日 至 2025年12月31日)
四半期純利益又は四半期純損失 (△)	△44	299
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△62	△199
為替換算調整勘定	15	8
その他の包括利益合計	△46	△191
四半期包括利益	△91	108
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△125	86
非支配株主に係る四半期包括利益	33	22

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

I 前第1四半期連結累計期間（自 2024年10月1日 至 2024年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	毎日の 暮らし 事業	ライフ イベント 事業	投資・イン キュベーシ ョン事業	計		
売上高						
顧客との契約から 生じる収益	689	2,007	735	3,432	—	3,432
その他の収益	—	—	21	21	—	21
外部顧客への売上高	689	2,007	757	3,454	—	3,454
セグメント間の 内部売上高又は振替高	25	—	6	31	△31	—
計	715	2,007	763	3,486	△31	3,454
セグメント利益	146	174	109	430	△366	63

(注) 1. セグメント利益の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社収益324百万円及び全社費用△341百万円、セグメント取引消去△184百万円、のれんの償却額△164百万円、未実現利益の調整額△0百万円が含まれております。全社収益は、各事業会社からの経営支援料が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない持株会社運営に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間（自 2025年10月1日 至 2025年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	毎日の 暮らし 事業	ライフ イベント 事業	投資・イン キュベーシ ョン事業	計		
売上高						
顧客との契約から 生じる収益	677	2,016	468	3,162	—	3,162
その他の収益	—	—	20	20	—	20
外部顧客への売上高	677	2,016	488	3,182	—	3,182
セグメント間の 内部売上高又は振替高	14	6	0	20	△20	—
計	692	2,023	488	3,203	△20	3,182
セグメント利益	224	114	9	348	△209	138

(注) 1. セグメント利益の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社収益319百万円及び全社費用△241百万円、セグメント取引消去△176百万円、のれんの償却額△117百万円、未実現利益の調整額5百万円が含まれております。全社収益は、各事業会社からの経営支援料が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない持株会社運営に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの資産に関する情報

前連結会計年度の末日に比べ、当第1四半期連結会計期間の報告セグメントの資産の金額は、「投資・インキュベーション事業」において1,725百万円増加しております。その主な要因は、当第1四半期連結会計期間において、株式会社アトリエはるかの株式を取得し、新たに連結の範囲に含めたことによるものであります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

重要性が乏しいため、記載を省略しております。

(のれんの金額の重要な変動)

当第1四半期連結会計期間において、当社が株式会社アトリエはるかの株式を取得し、連結の範囲に含めしたことにより、投資・インキュベーション事業セグメントにおいて、のれん132百万円が発生しております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2025年12月23日開催の取締役会において、その他資本剰余金を繰越利益剰余金に振り替えることにより、繰越利益剰余金の欠損額の補填に充当することを内容とする剰余金の処分を行うことを決議・実施したことにより、資本剰余金が388百万円減少し、利益剰余金が同額増加しております。また、当社は、2025年12月26日付で第三者割当による新株式の発行を行い、資本金及び資本準備金がそれぞれ47百万円増加しております。これらの結果、当第1四半期連結会計期間末において、資本金が77百万円、資本剰余金が8,276百万円、利益剰余金が367百万円となっております。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年10月1日 至 2024年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年10月1日 至 2025年12月31日)
減価償却費 のれんの償却額	112百万円 170百万円	127百万円 121百万円